

令和 8 年第 3 回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位	1 番	氏 名	佐々木 金彌	質問形式：	一問一答
1. 件名	王城寺原補償工事事務所の移転について				
要旨	6 月中旬に、宮城県農政部より連絡があり、大衡村にある補償工事事務所を廃止し宮城県仙台地方振興事務所に移転をしたいとの説明を受けた。私たち土地改良区や水利組合、そして演習場周辺の住民に意見を伺うと反対であるとの声が、ほとんどである。そこで村長に伺う。 ① 令和 9 年 3 月に大衡村の事務所を廃止し、宮城県仙台地方振興事務所の工事班にしたいとのことだが、村ではどう考えているのか。 ② 国の主たる演習場であり、今年もフランス軍が訓練に参加する大事な施設であり周囲に配慮すべきと考えるがどうか。 ③ 気候変動が激しく、演習場からの水害や倒木などが増えており、仙台にいて現状を知る事が出来ると思うか。 ④ 実施されれば、地域住民や村への負担、そして何より急場の対応が心配されるがどう考えるか。 ⑤ 花川ダム管理が宮城県から東北防衛局へ移管するとの話があるが、どうなるのか。また、花川ダム管理組合はどうなるのか。				

令和8年第3回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位 2 番 氏 名	鈴木 和信	質問形式： 一問一答
1. 件名 太陽光発電設備の設置条例について		
要旨 地域と調和のとれた太陽光発電施設を促進するため、事業者の責任を明確にし、適正な設置等の推進をするために必要な事項を定めることで災害及び自然環境・生活環境等の保全や災害防止に繋がる。何らかの設置規制を定めるべきではないか。 ① 出力50kw以下・以上の太陽光パネルの設置状況は。 ② 環境アセスメントの事業者への指導はどのようにしているのか。 ③ 災害発生時の対応・事業廃止等の措置指導は。 ④ 景観保全地区・抑制地区を定めているのか。 ⑤ 条例の必要性をどのように考えているのか。		
2. 件名 クマ被害対策の強化を		
要旨 クマの出没により、人身被害の増加や多様化そして広域化しており、村民の生活を脅かす深刻な事態となっていることからクマ被害対策強化について伺う。 ① 近年のクマの出没地区・件数の把握内容は。 ② スクールバス乗降所には、緩衝帯の整備または電気柵の設置が必要ではないか。 ③ 放送による注意喚起だけでなく、猟友会等の巡視活動の強化をすべきではないか。 ④ クマ出没対応マニュアルの作成が必要ではないか。 ⑤ クマ用・イノシシ用箱罠の数は十分か。設置に負担の少ない新型箱罠に買い換えしては。 ⑥ 猟友会メンバーの動向は。		

令和8年第3回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位 3 番 氏 名	小川 克也	質問形式： 一問一答
1. 件名 高校生への生活支援の充実を		
要旨 大衡村の将来を担う高校生が、家庭の経済状況や家庭環境に左右されることなく、安心して学び、進路を選択できる環境を整えることは極めて重要である。 国では各種制度の拡充が進む中、情報が十分に届かず利用につながっていないケースや、授業料以外の生活費負担が大きく高校生活の継続に不安を抱える世帯も少なくない。そこで以下の点について伺う。 ① 高校生世帯の生活費負担と支援ニーズについて、どのように把握しているのか。 ② 在学中の生活負担の軽減に向けてどのような充実を図っていく考えがあるのか。 ③ 子ども子育て支援全体のバランス評価は。 ④ 国、宮城県が今後、給食費一律無償化を進める場合、本村では既に給食費無償化を実施しているが既存財源の使い道の考えは。		
2. 件名 体育館にスポットクーラー等の設置を		
要旨 体育館利用者の熱中症予防と安全確保、さらに災害時の避難所機能強化を図るため、体育館へスポットクーラー等を導入すべきと考える。具体的に導入を進める考えはないか村長の見解を伺う。 ① 体育館における夏季の室温状況とこれまで発生した熱中症の搬送・発生件数は。 ② 体育館が避難所で利用される場合の暑さ対策は。 ③ 学校施設環境改善交付金や防災関連の財政措置を活用し、体育館にスポットクーラーや冷水機の設置はできないのか。		

令和 8 年第 3 回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位 4 番 氏 名	細川 運一	質問形式： 一問一答
1. 件名 保育料を子育て支援策の中心に		
要旨 仕事と子育ての両立を支援し経済的負担を軽減するための支援策の中心に保育料を位置付けるべきと考える。これからの支援のあり方を明らかにするために以下の点を問う。 ① 紙おむつらくらく事業(おむつのサブスク利用料金の無償化)とおうち子育てすこやか事業(在宅子育て支援金)を独自の支援策として導入した理由。 ② 宮城県少子化対策市町村交付金はどのような事業が対象になるのか。 ③ 本年度の 0～2 歳児の保育料を無償化した場合と第一子の年齢に関係なく第二子以降の保育料を無償化した場合の必要額は。 ④ 給食費の無償化による給食費負担軽減交付金はいくらになるのか。 ⑤ 幼児教育の無償化が進められたことによる財政負担を分析しているのか。 ⑥ 子育て世帯への経済的支援の中核は医療費・給食費・保育料と考える。地域性や子育て世帯の要望による独自の支援策も大事であるが、第二子以降の保育料から無償化すべきでは。		
2. 件名 指定管理者選定と協定内容について		
要旨 指定管理者制度によって万葉まちづくりセンターが公共施設の管理運営を行なっているが、協定期間が本年度で終了する。選定に向けての考え方を問う。 ① 指定管理者の指定までのスケジュール。 ② 指定管理料の積算のもとになる雇用形態や業務内容による人件費単価の考え方。 ③ 賃金スライド制度を取り入れる考えはあるか。 ④ 施設を管理運営してきたまちづくりセンターからこれまで、どの様な要望があったのか。 ⑤ 指定管理者に対する担当課の協力・支援のあり方は。		

令和 8 年第 3 回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位 5 番 氏 名	石川 敏	質問形式： 一問一答
1. 件名 ふるさと納税の取り組みを問う		
要旨 ふるさと納税は平成 20 年度に制度が創設され、年々寄附金が増加しており、令和 7 年度実績が全国で 1 兆 3,314 億円、5,963 万件となっている。宮城県内市町村においても総額 376 億円で、13 年連続で増加している状況である。 ふるさと納税による寄附金は地方自治体の財源として大きな役割を占めており、寄附金が税収よりも上回っている自治体も見受けられる。しかし、本村は寄附金額が県内最下位であり近年は伸びていない現状である。 ふるさと納税についてどのように取り組んでいくのか次のことについて問う。 ① 個人及び企業に対するふるさと納税に関する啓発周知にどう取り組んでいるか。 ② 返礼品開発の取り組み状況は。 ③ 寄附金充当事業の選定、基金取り崩しをどのようにしていくのか。 ④ 寄附金を村の特定財源としての位置付けをどう考えていくのか。		
2. 件名 指定管理施設にかかる今後の方針は		
要旨 村では各公共施設のうち数か所の施設管理を外部に指定管理委託契約を締結し、管理運営を委託しているが、現契約は令和 8 年度までとなっており、次年度は契約更新を要する。 現在指定管理委託している施設の今後の管理方針について問う。 ① 現在管理委託している各施設の次年度以降の管理方針は。 ② 万葉パークゴルフ場、万葉パークキャンプ場及びふるさと美術館の利用状況の当初見込みと実績は。 ③ 管理委託料にかかる各種経費の積算概要は。 ④ 村公共施設における指定管理委託の今後の方針は。		

令和 8 年第 3 回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位 6 番 氏 名	赤間 しづ江	質問形式： 一問一答
1. 件名 災害への備えを万全に		
要旨 能登半島地震、熊本地震、千葉豪雨と想定をはるかに超えた大規模災害が頻発している。東日本大震災で大変な思いをした経験を忘れずに、いつ起こるかわからない地震、水害、停電に備えて、今できることをもう一度確認し取り組むための対策について質問する。 ① 家庭で出来る安全対策、ハザードマップと連動した防災冊子の作成。 ② いざに備え非常持ち出し用品準備のすすめについて。 ③ 村の備蓄食品、避難所用資機材の確保と適切な管理（ローリングストック）。 ④ 防災訓練、防災教室開催で意識を高める取り組みを。 ⑤ 災害時協定を結んでいる団体名とその協定内容は。 ⑥ 最新のデジタル技術を活用し、防災に役立つ対策として村が考えていることはあるか。		

令和 8 年第 3 回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位	氏 名	質問形式：
7 番	早坂 美華	一問一答
1. 件名	部活動・大衡塾等への交通手段確保へ	
要旨	夏休みや冬休み中のさまざまな活動への参加の際には保護者の送迎が必要不可欠になっている。だが近年では、単世帯や共働き世帯も増えており、活動に参加したくても保護者の都合で送迎する事ができずに、活動に参加できない状況の家庭もあると耳にしている。特に本村のように公共交通の選択肢が限られている地域においては、子どもたち自身で移動することが難しく家庭の事情により活動の参加機会に差が生じる事も懸念される。子どもたちが意欲を持って参加したい活動において、家庭の送迎事情によって参加できないとの状況にならないように、そして教育環境の充実としても交通手段確保について本村の考えを問う。 ① 現在部活動は任意加入だが、部活動加入率と部活動数は。 ② 中学生のスクールバス利用人数は。 ③ 小・中学生の大衡塾への参加人数と参加率は。 ④ デマンド型交通「のらいん」を送迎等に活用する考えはないか。	
2. 件名	地域おこし協力隊の活動状況は	
要旨	令和 6 年 9 月から大衡村地域おこし協力隊の募集をし、令和 7 年 7 月から任用が開始された。任用開始後から、地域との繋がりを大切にし、さまざまな活動を積極的におこなっている姿を目にしている。そこで、これまでの活動実績を伺う。 ①任用開始後の活動状況は。 ②本村として、地域おこし協力隊に期待している点は。 ③残任期で行いたい活動は。	
3. 件名	出張動物園の開催を	
要旨	地域での交流、村内での交流が年々減少しているように感じる。村主催のお祭りも 2 つから 1 つになり、村民体育大会の開催も行われなくなった。地域の繋がりが減少している中で、子どもから高齢者まで幅広い世代が自然と集い、笑顔で交流できる場所をつくることは、本村の活力を維持するうえで重要であると感じる。出張動物園の開催はその一助となると考え、以下の点について問う。 ①現在行われている、村主催の地域交流イベントや行事は。 ②地域交流の減少をどのようにとらえ、今後の村主催行事のあり方をどのように検討しているか。 ③タカカツ万葉キャンプ場やおおひらふるさと祭りでの開催を。	